

第1部 (2008年5月9日 コーネル・ウェスト×姜尚中 対談) 申し込み方法

参加ご希望の方は、往復はがきに「対談入場希望」とお書きのうえ、

〒150-8366

渋谷区渋谷4-4-25 青山学院大学文学部 西本あづさ 研究室宛

にご郵送ください(4月25日(金)必着)。返信はがきをもって入場券とさせていただきます。

なお、先着200名様に限らせていただきます。

第2部(5月10日 コーネル・ウェスト特別講演 於青山学院大学青山キャンパス)につきましては、事前申し込みの必要はありません。ご自由にご参加ください。ただし、満席の場合、お座りになれなかったり、会場にお入りになれない場合がありますことを、ご了解ください。

コーネル・ウェスト(Cornel West)氏の紹介

アメリカ合衆国の歴史のなかで一番有名な人物といえ、たいていのひとはリンカーン大統領と答えるでしょう。しかし、それではこの大統領はどんな理由で有名なのでしょうか - 黒人の奴隷解放を進めたからというのがその答えということになり、私たちはそこで考えることをやめてしまいがちです。その先を考えてみましょう。解放された黒人の奴隷たちは、あるいは一般の黒人はそのあとどのように生きてゆくことになったのでしょうか。

アメリカ合衆国のアフリカ系アメリカ人(現在では、この呼び方のほうが、「黒人」という呼称よりも適切だとされています)について、私たちは一般にどんなイメージを持っているのでしょうか。都市部に住む貧しい人々? 抜群の体力と能力をもつスポーツ選手? - バスケットの名選手だったマイケル・ジョーダンとか、ゴルフのタイガー・ウッズとか。あるいはジャズからラップまでのいろいろなミュージシャンとか?

それはそうなのですが、そうした分野で活躍するアフリカ系アメリカ人の存在と併行して、たくさんの詩人や小説家、宗教人、それから、いわゆる知識人や学者がいるのです。考えてみれば、これは当り前のことなのですが、ついうっかりと見落としてしまいがちです。たとえば歴史家であり小説家でもあったデュ・ボイス(W. E. B. Du Bois, 1868-1963)、公民権運動の中心となって差別や貧困の問題とたたかったキング牧師(Martin Luther King, Jr., 1929-68)、そのキング牧師が銃弾に倒れてから、もう40年も経ってしまいました。

その悲劇の起きる5年ほど前に、当時10歳くらいであったひとりの少年がこの牧師の講演を聞いて、強烈な感動を受けました。その少年はアメリカン・フットボールと野球と走ることが大好きで、しかも勉強も大好きで、のちにはアメリカでもトップ・ランクとされるハーヴァード大学で学ぶこととなります。そして、ハーヴァード大学の教授となり、現在はプリンストン大学の教授です。同時に20世紀の末から21世紀にかけてアメリカをひっぱる代表的な知識人となってゆきます。彼は大学の中で教えるだけでなく、一般の人々の前でも感動的な講演をやり、テレビにも出演して人々に語りかけます。つまり、超人気の有名人ということですが、どんな場合にもその誠実な熱意がゆるぐことはありません。彼が取り上げる問題は、今も根強く残る人種差別、性の差別、格差社会の苦しみ、環境問題、信仰のあり方など、それぞれ現代の世界が直面するすべての問題と断言していいでしょう。

彼はそうした問題について語り、そして、そこで聞いている人々と対話しようとします。熱く、ひたすら熱く、誠実に。(ついでに補足しておくならば、彼はラッ



プのミュージシャンでもあって、そのCDも発売されています。)

その彼が、つまりコーネル・ウェスト(Cornel West, 1953-)が、今、私たちの前に立っています。『人種の問題』(1993年)や『民主主義の問題』(2004年)の他、20冊に近い専門的な哲学書などを出版してきた、現代世界のもっともすぐれた知的リーダーのひとりが。

姜尚中(カン・サンジュン)氏の紹介

1950年熊本県生まれ。専門は政治学、政治思想史。

現在、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授。

詳しい情報は、<http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/faculty/profile/kang.html> をご参照ください。